

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	症例番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過	経過	経過	経過	経過
150	B-08030549	男性	15歳	10 mg			徘徊癖 絶叫	回復 回復	ザナミビル水和物服用1日目、午前中、本剤吸入約45分後、奇声をあげたり部屋内をウロウロする行動が発現。本剤中止。			08/04/01以降 新規報告
151	B-08031640	男性	15歳	20 mg	アセトアミノフェン		異常行動	回復	38.1℃の発熱あり、キットにてインフルエンザA型の診断。診断翌日からザナミビル水和物服用開始。 服用2日目、午前中、本剤吸入後、就寝。吸入約2時間後、高熱あり。イチゴを食べるかと言われ、ケーキを60個作らなくてはと言いながら台所付近を歩き回る(約5分間)といった行動が発現。発現時の記憶はなし。吸入約2時間半後、就寝。吸入約7時間後、高熱あり。手がない、手がない、手を作らなくてはと異常言動が発現するも、すぐ正気に戻る。発現時の記憶なし。本剤中止。			08/04/01以降 新規報告
152	B-07028447	女性	16歳	20 mg	インスリン アスパルト(遺伝子組換え)		異常行動 意識変容状態	回復 回復	ザナミビル水和物服用1日前、夕、体温38.6℃。翌日、39.9℃の発熱あり、受診し、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夕、本剤1回目吸入。 服用2日目、朝、夕、本剤吸入。深夜、本人が気付くと3階の自宅の窓から出て、2階部分の屋根のひさしの上につきすりにつかまりながら立っていた。父が助け出したが本人は過呼吸、泣き続ける状態。外傷はなし。事象発現約1時間後、受診。受診時は簡単な応答は可能。事象発現約2時間後、ほぼ意識状態は正常。副作用により、本剤中止。検査のため、入院。	異常-53		08/04/01以降 追加報告
153	B-08024167	男性	16歳	20 mg			異常行動	回復	体温39℃。インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。本剤初回吸入し、就寝した。深夜、自宅2階のベランダに足をかけて飛びおろしようとしているところを母親が発見。「外に友達がよんでいるから行って来る」と本人は話していたとの事。部屋に入ってから友達が来ているからと部屋の中をウロウロしていたと、部屋の電気をつけて何度か呼びかけたら、ふつうにもどったという。異常行動の持続時間は数分間。 その後は特に変わった様子はなし。 服用5日目、インフルエンザ改善により服用終了。			08/04/01以降 新規報告
154	B-08030245	男性	16歳	10 mg	葛根湯		異常行動	回復	39.0℃の発熱あり、受診。キットにてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。本剤吸入後、睡眠。吸入約2時間半後、昼食のため起こすと、目の焦点があわず、うろろし始め、水に行きたい、病院に連れてってと連呼する、蛇口を開ける動作をするといった行動が発現。大量の発汗あり。事象発現10分後、落ち着く。この間の行動に記憶なし。医師に相談し、本剤中止の指示。			08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No	個別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	副作用No	備考
155	B-08026395	男性	17歳	20 mg	カルボシステイン dl-マレイン酸クロルフェニ ラミン 鎮咳配合剤(1)	死亡	死亡	38.8度の発熱があり、受診。A型インフルエンザと診断され、ザナミビル水和物とカルボシステイン、dl-マレイン酸クロルフェニラミン、鎮咳配合剤を処方。同日、服用開始。 翌日、朝、自宅ベランダ(5階)から転落しているところを発見された。異常行動の有無については確認されていない。報告医が患者父親に服用について聞いたところ、「先生に言われたとおりにしました」とのこと。報告医は本剤を含め併用薬も全て服用したと考えている。		08/04/01以降 新規報告
156	B-08028610	女性	17歳	20 mg	鎮咳配合剤(1) d-マレイン酸クロルフェニ ラミン	異常行動	回復	キットにて、インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日午前中、夕方、本剤吸入。就寝前の体温は38.7℃。服用2日目、早朝、急に飛び起き、気持ちが悪かったようでトイレに起きた様子でしたが、トイレではない場所に転びそうになりながらバタバタ音をさせ、トイレより先の部屋に倒れこむ。あわてて駆け付け抱き起こし、気持ちが悪いと言うのでトイレに連れて行く。5分位トイレにいたが何ももどしていない様子。そのまま部屋にもどり寝る。事象発現約4時間後、体温は37.2℃であり、少々まだ気持ちが悪いようで、薬を服用すべきか悩み病院へ電話した。本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
157	B-07023802	男性	18歳	10 mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン 維持液(6) セフトリアキソンナトリウム	異常行動	回復	服薬1日目、キットにてA型インフルエンザと診断。受診中にザナミビル水和物を1回分吸入。帰宅後、ほとんど自宅で眠っていた。夕方、頭の中がおかしいと感じ、自分の顔をたたく「しっかりしないといけない」と自分自身を元気づけていた(約数分間)。夜、就寝後、急に起き上がり、1階と2階を行ったり来たりした(約数分間)。その時、本人は「覚えてはいるが、はっきりしない」感じであったとのこと。救急外来を受診。本剤中止。以後、帰宅後も異常行動出現なし。	異常-54	
158	B-08028607	男性	18歳	20 mg	乳酸リンゲル液	異常行動	回復	39.3℃の発熱あり、受診。倦怠感強く、食事は取れないが、意識著名。検査にてインフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。同日、服用開始。夜、本剤吸入約2時間後、体温39.8度あり、発汗多量で、2階寝室で寝ていたが「あつい、あつい」と言いながら、1階に降りて玄関のドアを開け外に出るところを家人が制止。ソファに座らせた時は、過呼吸で呼びかけに返事をしなかったが、数分で落ち着き返事をするようになった。再び就寝させた。 服用2日目、朝、体温は37.2℃。食事可能となり、会話も普通。本剤吸入。その後、本剤中止。 服用開始から3日目、症状なし。異常行動なし。		08/04/01以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要(年齢順)  
 (販売開始(平成12年12月)から平成21年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	服用薬	副作用	経過	経過の概要	副作用No.	備考
159	B-08028839	男性	18歳	20 mg	リン酸ジメモルファン アセトアミノフェン 酪酸菌製剤	異常行動	回復	ザナミビル水和物服用1日前、体温38.5℃にて、受診するも、キットにて陰性であった。 服用1日目、体温38.2℃にて、再診。キットにて、インフルエンザB型と診断され、ザナミビル水和物処方。昼、夜、本剤吸入。夜、本剤吸入2時間後に就寝。本剤吸入3時間後、自室(2階)から下りて来て、小声で意味不明のことを言いながらウロウロ、ドアを開け庭に出て5～10分ウロウロ動き回ったあと、母に促され屋内に戻った。 服用2日目、朝、体温37.9℃。昨夜の行動が変だったことは何となく覚えているとのこと。本剤吸入後、服用1日目の異常行動を踏まえ、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告
160	B-07027137	男性	19歳	20 mg	ロキソプロフェンナトリウム 臭化水素酸デキストロメ ルファン カルボシステイン	運動過多	回復	ザナミビル水和物服用1日目、朝、体温39℃。本剤1回目吸入15～20分後、じっとしてられず、部屋の中を歩きまわっていた。落ちつかずじっとしてられない気分であった。昼過ぎ、体温が37℃に下がる。 5日間本剤服用したが、服薬1日目を以降、異常なし。	異常-55	08/04/01以降 追加報告
161	B-08029433	不明	19歳	投与量不明		異常行動	不明	ザナミビル水和物を5日分処方。夜中におかしなことを叫んで走ってくるという異常行動が発現。		08/04/01以降 新規報告
162	B-07025367	男性	20歳	20 mg	塩酸イトブリド セフジトレンピボキシル アセトアミノフェン	異常行動	回復	服薬1日目、インフルエンザ(A)。昼頃、ザナミビル水和物吸入。階段昇り降りし、遠くを見つめていた。夕方、同じパターン。 服薬2日目朝、同じパターン。本剤吸入中止。解熱して症状改善。	異常-56	
163	B-08030546	男性	29歳	10 mg		異常行動	回復	ザナミビル水和物服用2日前より発熱あり。 インフルエンザA型と診断され、ザナミビル水和物処方。帰宅し、約3時間の睡眠後、起き出し、トイレに行くときと大声を出す、トイレから出て走り、妻に抱きつくといった行動が発現。シャワーを浴びると正常な状態に回復。		08/04/01以降 新規報告
164	B-07000023	女性	30歳	20 mg	カルボシステイン 臭化水素酸デキストロメ ルファン	幻覚 失見当識	回復 回復	ザナミビル水和物を使用。服用2-3時間にて家と反対方向に歩き出し、夫に注意を促されて戻る。帰宅後もトイレで壁に向かって何度もおじぎをし謝っていた。 翌日、ザナミビル水和物中止し、同様な症状は起きていない。	異常-57	
165	B-08028841	男性	10歳代	投与量不明		落ち着きのなさ	不明	夜、パジャマのまま外を徘徊しているところ通行人に保護され、病院搬送。ザナミビル水和物が処方されていたことが判明(吸入の有無は不明)。入院するも翌日には症状なし。		08/04/01以降 新規報告
166	B-08028608	不明	不明	投与量不明		落ち着きのなさ 徘徊癖	不明 不明	ザナミビル水和物服用後、落ち着かないといっとうろろしている。		08/04/01以降 新規報告
167	B-08030547	男性	不明	投与量不明		異常行動	不明	布団の中で大きな声を出し、布団から飛び出す行動が発現し、本剤中止。		08/04/01以降 新規報告